

島民の想い伝わり、 吉永小百合さん49年ぶりに 神島へ



昭和39年に公開された映画「潮騒」で主演された吉永小百合さんが6月2日（日）に神島へ来訪されることが決まりました。

神島を舞台とした三島由紀夫の純愛小説「潮騒」は、これまでに5回の映画化がなされており、吉永小百合さんは、その第2作目で主役の初江役を演じられました。

今回の来訪は、島民の吉永さんへの想いが伝わり実現したもので、昭和39年当時、映画撮影で訪れて以来、49年ぶりの神島来訪となります。

観光課観光振興係 ☎ 25 1157

今も島に息づく「潮騒」

八代神社、監的哨、神島灯台など、「潮騒」に登場した場所は、今も当時のままの姿を残し、それらの代表的なスポットに設置された案内板には、今も第2作「潮騒」のワンシーンが使用され、島民や来訪者に親しまれています。また、島の民家にも、撮影当時の島の様子を収めたさまざまな写真や台本、サイン色紙などが宝物として大切に保管されています。



島に残る第2作「潮騒」の台本

吉永小百合さんの

来訪を喜ぶ島民の声

神島町内会長

小久保眞一郎さん

このたび、吉永小百合さんが再び神島を訪れていただけると聞き、島民一同感激しております。神島は、三島由紀夫さんに「潮騒」の舞台として選ばれ、5度に渡る映画化のおかげで、全国的にも名前が知られるようになりました。以降、神島は「潮騒」を島の誇りとして、共に歴史を歩んでまいりました。

撮影当時を知る島民は、来訪者へ当時の写真を得意気に見せては神島や潮騒を紹介しています。

現在、島民が何十年も心待ちにした吉永さんの再訪に向け、神島を挙げて歓迎の準備をしております。

そして、当日は「神島へおかえりなさい、吉永さん。」とお伝えしたいです。

撮影当時を知る

山本晶子さん

映画撮影のため吉永さんが神島に滞在されていた時のことを今でも鮮明に覚えています。私は当時小学6年生で、時間があれば友達と一緒に吉永さんにずっと付いて回っていました。私の家は旅館を経営しており、浜田光夫さんや撮影スタッフの方が宿泊されていました。吉永さんは別の家にお泊りでしたが、撮影が終わると毎日のように遊びにきてくれたことを覚えています。

撮影が終わりに、吉永さんが島を離れる日、私たちは担任の先生に頼み込み授業を抜けさせてもらい見送りに行きました。船が見えなくなるまで手を振り合いました。またいつか再会できる日を子どもながらに願っていました。

今回、再び神島に来ていただけると聞き本当に感動しました。ぜひ当日は一緒に当時の思い出をお話したいです。